

経営課題2 安全・安心・快適なまちづくり

経営課題の概要
安心・安全・快適なまちづくりに向けて、自助・共助・公助の役割分担のもと、大規模災害時に迅速かつ的確な対応が行えるよう、区の特性を踏まえた防災対策を強化するとともに、区民の防災意識をさらに高め、地域防災力の強化を図る必要がある。また、区民が巻き込まれる犯罪が発生しにくいまちとし、区民が安心して暮らせるようにする必要があります。

経営課題のための戦略	
1 防災対策の強化	
具 体 的 取 組	
1) 地域防災の活動支援	【H28予算算定額：2,588千円】
	・ H28取組内容 地域住民が主体的に避難所を開設・運営できるよう支援するとともに、平成26年度に策定した各地域の防災計画を地域主体で実践するための地域における防災学習会の開催を支援する。
	・ 避難所開設訓練及び地域防災計画学習会の実施を進めた地域：11地域
	・ 業績の目標 避難所開設訓練及び地域防災計画学習会の実施を進め、地区防災計画等に反映した地域：6地域
2) 避難行動要支援者対策の促進	【H28予算算定額：2,588千円】
	・ H28取組内容 地域防災力の強化に向けて、地域の自主防災組織による「避難行動要支援者支援計画」の策定を危機管理室の自主防災組織力向上コーディネーターと連携して支援するなど、地域における避難行動要支援者の避難支援の取組みを促進する。
	・ 避難行動要支援者の避難支援の取組みを進めた地域：11地域
	・ 業績の目標 避難行動要支援者の避難支援の取組みを実施し、地区防災計画等に反映した地域：6地域
3) 防災リーダーの育成	【H28予算算定額：969千円】
	・ H28取組内容 地域防災リーダー及びジュニア防災リーダー（中学生）に対し、消防署及び大阪市危機管理室地域防災活動アドバイザー等と連携した訓練等を実施する。
	・ 新人地域防災リーダーの研修会：1回 ・ 中学校での防災学習：各1回 計5回
	・ 業績の目標 防災学習を受けた中学生のうち「災害時の役割等を理解した」と答えた生徒の割合：80%

経営課題のための戦略

1 防災対策の強化

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：一千円】

4) 防災サポーター登録企業等の確保

・ H28取組内容

港区内の各地域において防災活動に協力し、被害の軽減や地域生活の早期復旧等
に貢献する災害時ボランティア制度を充実させるため、港産業会等への働きかけ
を通じて防災サポーター登録企業等の確保を行う。

- ・ 取り組みを働きかける回数
港産業会（郵送：年1回）
水上防犯協会（郵送：年1回）

・ 業績の目標

防災サポーター登録企業の数（累計）：50社

【H28予算算定額：一千円】

5) 防災・減災教育の推進

・ H28取組内容

学校における防災・減災教育が、地域の実態に応じて効果が発揮できるよう支援
を行う。

- ・ 学校との防災・減災教育についての情報共有・意見交換会等の開催：各校1回
以上

学校における地域と連携した防災・減災教育の取組み校数：5校

【H28予算算定額：一千円】

6) 災害時における初期初動体制の強化

・ H28取組内容

区災害対策本部の初期初動体制をより強固とするため、「勤務時間外初期初動マ
ニュアル」を活用し、区緊急本部員と大阪市各局職員のうち直近参集職員に指定
された区内居住職員が連携した区災害対策本部の立ち上げ訓練等を実施する。

- ・ 直近参集職員及び区緊急本部員の合同訓練 1回

・ 業績の目標

訓練に30分以内に参集した直近参集職員の割合：2/3参集

【H28予算算定額：289千円】

7) 防災広報・啓発事業

・ H28取組内容

区民の防災意識を高めるため、防災に関する基本的な情報に加え、災害時におけ
る「自分の命は自分で守る（自助）」「自分たちのまちは自分たちで守る（共
助）」の取り組みの紹介や津波避難ビル、災害時避難所等の場所を掲載した区広
報紙の防災特集号を作成し配布するとともに、区ホームページにおいて適宜情報
を更新し、発信する。

- ・ 区広報紙の特集号の作成、配布：1回

・ 業績の目標

「災害の備えとして港区の広報紙やHP、防災フォーラムが参考になった」と答え
た区民の割合：70%

経営課題のための戦略

1 防災対策の強化

具 体 的 取 組	
8) 津波避難ビルの確保	【H28予算算定額：一千円】
	・ H28取組内容 区内の公共施設、大規模施設、全国チェーン店等は危機管理室が、地域の民間施設は区役所が地域と連携して、津波来襲時に緊急避難できる「津波避難ビル」の指定を行う。
	・ 津波避難ビルの指定について働きかける施設数：5箇所
	・ 業績の目標 新たに指定した津波避難ビルの数：2箇所
9) 福祉避難所の設置運営	【H28予算算定額：一千円】
	・ H28取組内容 災害時避難所での生活が困難な高齢者や障がい者など、支援が必要な方のための福祉避難所に対して、福祉避難所の設置運営訓練等の実施を働きかける。
	取組みを働きかける回数：28回（28施設）
	・ 業績の目標 福祉避難所の設置・運営訓練等を実施の数：3施設

経営課題のための戦略

2 防犯対策の強化

具 体 的 取 組	
1) 地域防犯啓発事業	【H28予算算定額：522千円】
	・ H28取組内容 港警察署と連携して、区内の犯罪発生場所などの犯罪情報を地図上と一覧表に集約し、積極的に発信するとともに、地域と協働して防犯意識を高めるためのひたくり防止キャンペーンを実施し、街頭犯罪を減少させ、安全・安心な街づくりをめざす。
	警察・地域と協働して実施した啓発活動：35回
	・ 業績の目標 防犯意識が向上した区民の割合について、前年よりも5%以上の増加
2) 子どもの安全見守り防犯カメラ設置事業	【H28予算算定額：1,078千円】
	・ H28取組内容 子どもへの声かけ事案や強制わいせつは依然継続して発生している。一方で防犯カメラの設置は進んでいるが、ほとんどのカメラが民間所有・管理のため、公共空間の撮影範囲が少ないことや低画質のため犯人の特定に有効な機能が不足している。区が犯人の特定に有効な防犯カメラを設置し、早期の犯人確保につなげることによって犯罪の発生の抑止を図り、子どもにとって安全・安心のまちづくりを進める。
	防犯カメラ設置箇所：11箇所
	・ 業績の目標 平成28年1～12月の通学路や公園等で子どもが被害にあった犯罪発生件数：0件

経営課題のための戦略

2 防犯対策の強化

具 体 的 取 組	
3) 子ども見守り隊活動に対する支援	【H28予算算定額：550千円】
	・ H28取組内容
	港区の11小学校区の子ども見守り隊活動団体に対して防犯物品を支給し、その活動を支援するとともに、地域住民の防犯ボランティア活動への参加を促進する。
	子ども見守り隊活動の実施校下：11校下
	・ 業績の目標
	平成28年1～12月の安まちメールの子どもに対する声かけ件数を5件以下とする。

経営課題のための戦略

4 空家対策

具 体 的 取 組	
1) 特定空家対策	【H28予算算定額：一千円】
	・ H28取組内容
	区民からの通報・相談に対して迅速に現地及び所有者等の調査を行い、関係局と連携しながら保安上危険な特定空家等への助言・指導・勧告を行う。
	・ 業績の目標
	区民からの通報・相談のあった空家の調査を実施し、空家の状態に応じて、所有者等に適切な指導を実施。指導件数：指導の必要な空家全件